

◎注意事項をよくお読み下さい

りそな 経済フラッシュ

(米国FOMC)

2020/4/30

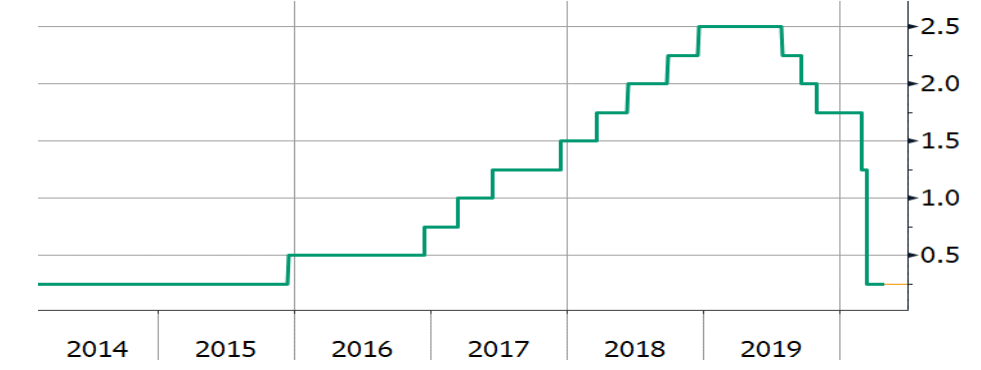
りそなホールディングス 市場企画部



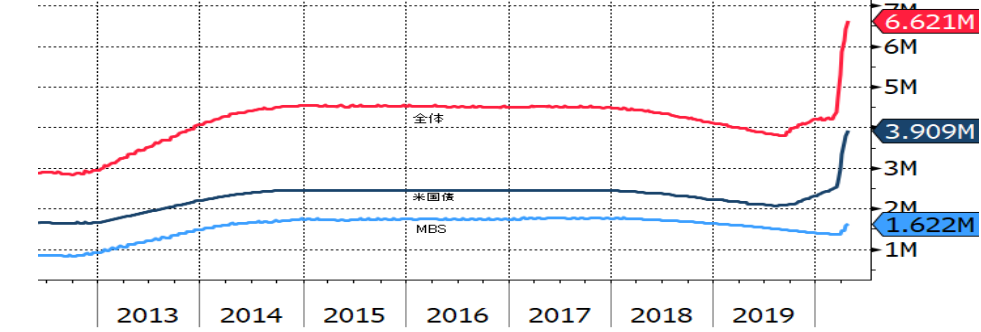
〇概況

- ◆ 政策金利であるFF金利誘導目標は0.00～0.25%で据え置き。
 - ◆ 3月以降実施してきた国債・MBSの積極的購入、クレジット市場への介入、一般企業への直接融資の積極活用を表明
 - ◆ 新型コロナウイルスの中期的（1年程度）な経済活動や雇用、物価へのリスクに初めて言及。先行きに慎重な見方をしている
- ✓ FRBは4/28-29に行われたFOMC（連邦公開市場委員会）で、**政策金利であるFF金利の誘導目標を0.00～0.25%に全会一致で据え置いた。**また3月以降実施してきた国債・MBSの積極的購入、クレジット市場への介入、一般企業への直接融資について、積極的に活用することを表明した。
- ✓ フォワードガイダンス（将来における金融政策の方針）についても、「FRBは、直近の事象を切り抜け、最大の雇用と安定した物価目標を実現するとの確信が持てるまで現状のスタンスを維持」として、**当面現状のゼロ金利政策を継続することを示唆した。**
- ✓ また今回の声明文で、**新型コロナウイルスが短期的な経済活動や雇用、物価上昇を阻害するだけでなく、中期的（1年程度）にも著しいリスクをもたらす可能性について言及した。**中期的なリスクについて言及したのは今回が初めて。FRBは昨年12月のFOMC以来、経済見通しを公表していないが、**先行きに慎重な見方をしている。**
- ✓ FRBのパウエル議長は記者会見で、必要な資金供給を今後も積極的に行うとしながらも、あくまでもサポート役であり、**財政政策の重要性に言及。**現段階では財政リスクについて検討すべきではないとした。
- ✓ 3月以降のFRBの政策により株式市場の変動率（VIX指数）は急速に落ち着いてきている（右下図）。次回会合は6/9-10であるが、**マーケットが混乱すれば、会合日に関わらず、必要に応じて、再度追加の政策を検討するであろう。**

米国政策金利 【出所】FOMC, bloomberg



FRBバランスシート (兆ドル)



米国株式市場とVIX指数

